

# 式辞

川根本町長

蘭田 そのだ

靖邦 やすくに



# 謝辞

下村 しもむら

優奈 ゆうな

さん (下長尾区)



輝かしい新春の今日の良き日、夢と希望に胸を膨らませ、二十歳の門出を迎えられました54名の皆様、おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。併せて、お子様を陰日なただで支え、健やかに育ててなられましたご家族の皆様、誠に改めてとうございませす。また、ご来賓の皆様におかれましては、公私共にご多忙の中、ご臨席を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年4月1日施行の民法改正により、成年年齢が18歳となりましたが、皆様におかれましては、「はたち」という人生の大きな節目を迎えました。

今後は社会の一員として地域社会や日本の未来を担うという重い責任が生じて参りますが、このことを自覚し、自らの判断と責任により行動すること求められます。

これからの人生、私は回り道をしてもいいと思います。しかし、後戻りできない時が必ず来ます。一日一日を大切に生きてほしいと願っております。

昨年11月に「徳山の盆踊」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。川根本町の伝統文化が世界の宝として認められたことは、大変喜ばしく名誉なことです。皆さんのような若い世代の方々には、「徳山の盆踊」をはじめと

本日は、公私共にご多忙の中、蘭田町長様をはじめ、ご来賓の皆様のご臨席を賜り、コロナ禍でこのような素晴らしい集いの開催してくださったこと、誠にありがとうございます。多くの皆様からの心温まるご祝辞、励ましのお言葉をいただき、本日はたちの集いを迎えられることを大変うれしく思います。

私たちは二十歳を迎え、すでに就職し働いている者や学業に励んでいる者など立場はさまざまですが、それぞれがこの川根本町で過ごしたことを誇りに前へ進んでいます。

私は川根本町で生まれ、高校2年生までこの町で過ごしました。川根本町を離れて感じたことは数多くありますが、何より一番は、川根本町は心が落ち着き、ほっとできる町だということだと思います。豊かな自然の力もさることながら、町の皆様の心の温かさや人のつながりの強さ、そして、のびのびと生活できたことが支えとなり、今の自分へと育ててもらえたと思います。

また、中学2年生、高校2年生の時には、海外研修に参加させていただきました。このことがきっかけとなり、海外への興味が増し、今は国際関係学部で勉強をしています。さらに、大学で、友人と話をしていると、中学校の

する川根本町の自然や歴史、文化を末永く後世に受け継ごうという気持ちを持っていたいだきたいと思えます。

私も町長に就任して、一年が経過いたしました。

小さな町だからできること、考えられることを「未来、創造をつなげるまちづくり」に託し、先人の方々の教えも大切にしながら、熱意と既成にとらわれないビジョンと道筋が見える川根本町を創りたい。これからも町民の皆様の笑顔を常に思い、変わらない私の思い「安心・安全・未来」の町づくりを邁進します。

本日晴れて「はたちの集い」にご出席されている皆さん、共通の思い出を持つかけがえのない仲間がいるこの川根本町は、皆さんのふるさとです。生まれ育った川根本町という小さな町が、未来に向かって、力いっぱい頑張っているということを忘れないでください。

結びにこれまで深い愛情を持って献身的に皆さんを育ててこられたご両親、ご家族への感謝とふるさとを愛する心を忘れることなく、自らの夢の実現と川根本町の未来のためにご活躍されることを期待し、また、希望に満ちた皆さんのさらなるご健勝とご多幸を祈念し、式辞とさせていただきます。

時に授業で活用していた一人一台のタブレットが、当たり前のことではなく、他の市町に先駆けた取り組みだったことがよく分かりました。このように、さまざまな面で私たち学生のために力を注いでくださったことにも感謝しています。

現在は、勉強と部活動を両立させ、充実した学校生活を送っています。勉強面では、小学校と中学・高校の英語の教員免許取得を目指しています。部活動では、硬式野球部のマネージャーとして活動しています。今しかできないことを思いっきり楽しみ、大学で培った力を社会に出た時に生かしていきたいと思えます。また、この大好きな川根本町に恩返しができるよう、夢に向かって一生懸命勉強したいと思えます。

最後になりましたが、晴れて二十歳という大きな節目を迎えることができたいのは、地域の方々をはじめ、先生方、家族や友人など今まで関わってくださった皆様のおかげです。これからはお世話になった皆様への感謝の気持ちを忘れずに、社会に貢献できるよう努めて参ります。私たち一同の今後の活躍とさらなる成長をお誓いし、謝辞とさせていただきます。